

事業目的

近年、生成AIの高性能化に伴い、AIを動かすための計算機の価格や消費電力が大きな課題となっている。特に智能ロボットでは、高性能なAIに限られた電力・コストで動作させることが求められる。本事業では、市販のメモリ（DRAM）をデータの保存だけでなく「計算」にも活用する独自技術を、智能ロボットに搭載可能な計算機システムへ発展させる。これにより、高性能なAIを低コスト・低消費電力で利用できる技術の実用化を目指す。

事業内容

本事業では、市販のメモリ（DRAM）を用いた実機システムを開発し、数十億パラメータ規模のAIモデルをGPU方式よりも効率的に動作させることを目指す。併せて、ソフトウェア・ハードウェアの両面の最適化を行い、AI計算の更なる高速化を図る。また、Physical AI企業との協業により実機での導入実証を行い、性能・消費電力・サイズ・コストなどの要求を満たすことを確認し、半導体の設計技術のライセンス提供に向けた基盤を整える。

事業成果

事業者情報

Analog Memory株式会社

所在地: 東京都中央区
設立年: 2026年

Analog Memory

概要図等

